

saveMLAK報告会2012 ～社会教育・文化施設の救援・復興支援～

saveMLAK 個別報告

博物館・美術館分野での活動

阿児雄之 @ta_niiyan



- 博物館・美術館施設情報の掲載
(被害報告のあった施設196件 /Museum施設数 5434件)

インターネット・ミュージアム様はじめ、リスト提供・作成にご協力いただいた皆様、ありがとうございました

- 基本的にはネットの公開情報が頼り。サイト更新により情報減が消える。また被災地現地での情報収集は弱い
- リスト提供をいただいた方をはじめとする関連組織との連携、情報収集、情報交換などの関係構築が重要
- 被災現場では、文化財レスキューなど専門性が高い支援を想定

- ウィキ祭りミュージアム版は一度きり？ もう少し集中して作業を行う機会を設けたほうが良かった
- 手が回らなかったというのが正直なところだが、できればMuseum内での横のつながりがもっとできればよかった。海外からの協力などもあったが難しかった

たちあげ

これまで

これから

できた

- 各種イベント、展示、学会、ラジオでの発表報告、また雑誌等による論文・レポート記事報告をおこなってきた
- レスキューされた被災文化財の展示会開催の支援

みえてきた

- 「saveMLAK」の活動報告は行っているが、被災した施設そのものの報告や被害、救援希望のまとめ、全体像の把握が難しいままとなっているのではないか
- Museum業界内での認知、報告が不十分

できなかった

- 活動認知は重要であるが、ややもすると被災地支援よりもsaveMLAKに対する支援協力をお願いになってしまったのではないか
(文化財レスキュー等現地への支援が難しいという面もあるが)
- いくつかあった学会報告、論文提出の機会を逸している。きちんとした報告の機会を逃さぬようにと思うが難しい

- とにかく1年間活動が続けたこと
Savemuseumではここまで続かなかっただろう

- 活動継続のモチベーションをどう維持していくか
- ある意味終わりが見えない
- 今後の「想定外」の事態にどう備えるか
- 自分たちの活動を客観視することのむずかしさ

- その場その場の瞬発力で対応してきたが、短期・中長期計画がない
- 次の非常事態にどう適切に対応できるか、対策を立案できていない
- saveMLAKが「できなかった」は良い、誰も「できなかった」状況にはしたくない